

取組名	教員研修	避難地域 12 市町村の小・中・義務教育学校の教員および指導主事、その他、希望する他地区の教員	
日にち	2024 年 9 月 27 日 (金)	時 間	10:05~16:10
内 容	避難地域 1 2 市町村における少人数教育に対応した教授法		

■内容

- ・東日本大震災・原子力災害伝承館の見学や語り部の講話
- ・対象地域の代表校による教育実践発表
- ・基調講演「子どもの『主体的な学び』を支える～鍵を握る『聴く構え』～」
富山県南砺(なんと)市教育委員会 教育長 松本謙一氏 (富山大学名誉教授)

【目的】

被災した地域（避難地域 1 2 市町村）の学校教育の学習指導上の課題解決に向けて、「子どもの主体性を引き出す教科指導の在り方」や「魅力ある教育課程の改善」を目指す

【詳細】

ほとんどの先生が、訪れたことがある「東日本大震災・原子力災害伝承館」でしたが、改めて見学研修プログラムと、語り部から当時の体験談の講話を受講しました。

その後、広野町立広野小学校、川俣町立山木屋中学校から、特色ある教育の実践発表を聞き、富山県南砺市教育委員会教育長、富山大学名誉教授の松本謙一氏から「子どもの『主体的な学び』を支える-鍵を握る「聴く構え」-」の基調講演を受講しました。

「教師がワクワクしないで子どもがワクワクするか!」という松本先生の教育にかける熱い思いの伝わる講演でした。

その中で、子どもからの問いかけにどう答えるかを、勇気ある先生 5 名が実際に体現しました。

小学 1 年生からの「砂を掘ったら、砂の上は熱かったけど、穴の中は冷たかったよ」の問いかけに、あなたならどんな対応をしますか？

正解を求めて 5 名の先生がチャレンジし、その勇気ある行動に惜しめない拍手が送られました。

終了後のアンケートでは、来年も是非実施してもらいたいとの希望が多数寄せられました。

(※松本先生の基調講演は福島イノベ機構の YouTube で公開しています。5 人の先生のチャレンジもぜひご覧ください)

YouTube は↓↓↓こちらからどうぞ

[子どもの『主体的な学び』を支える-鍵を握る『聴く構え』-](#)

■ 写真

